

# 女性社員訪問③ 私たちはいま

やりたいことがやれて

——入社ของきっかけを教えてください。

**堀内** 大学生だった19の時アルバイトで入社して、友だちが増えたなどという感じの楽しいバイト生活でした。今年は27歳になったし、結婚も含めて将来のことを考えたらやはり、正社員として働きたいと思っています、何か面接も受けました。が、やっぱりイル・サロ

## アサヒディード 堀内愛子さん

### プロフィール

2007年にイル・サローネ東住吉店にホール・カウンター担当としてアルバイト入社。2013年4月貝塚店に異動。オペレーターとして、ホールでのスタッフワークをはじめ、カウンターでの景品交換業務や総合案内などに加え、スタッフの指導も行う。



◀笑顔で接客する堀内さん

ーネなんですね。理由は、うーん、これは、恋人にどこ好き？と聞くのと同じなんですよ（笑）。

この会社の好きなところも嫌なところもありますが、「ここがめっちゃ好きやから」というよりは、なんとなく「うん、この会社が好きやねん」という感じです。

——恋人、ですか（笑）。そこまてになるきっかけは何だったのでしょうか。

**堀内** アルバイトなのにいろいろな

ことをさせてもらったからだと思います。新しく入ってきたスタッフの指導に始まり、本来なら社員さんがやる研修の主導や、チャレンジシップフォーラム（別項）のリーダーをさせていただいたり、

とやりたいことをやらせていただいたからかな。プレッシャーを感じてそれが辛い時期だったこともありましたが、純粹に「おもしろいな」と思ったのです。

——おもしろいとは？

**堀内** やりたいです、と言うとやらせてもらえる。その過程で新しい知識が増える。めっちゃ楽しい、となるわけです。

### 「一番嬉しかった「優勝」

——楽しいことがたくさんありますね。

**堀内** これまでの時間を振り返ると、チャレンジシップフォーラムでの優勝が一番嬉しかったですね。当時働いていた東住吉店は、5年間ずっと最終選考に残れなかったんです。うちの店にはこんないいスタッフがおって、こんなにええことしているのにめっちゃ悔しい、と思っていました。それが2011年にやっと優勝できて、自分の中での集大成に

もなったのかなと。

——4回目までとは何が違ったと思いますか。

**堀内** この年は東住吉店のメンバー全員が、みんな壇上に上がるんだ、という強い気持ちを持っていたと思います。だからそのために工夫や話し合いがとても活発に行われて、1つの目標に対してみんなで取り組んだ1年になりました。

——堀内さんご自身の集大成とはどういうことなのでしょう。

**堀内** 入社のきっかけがお給料でしたが、そこから少しずつ視点が出てきて、途中で失敗は腐るほどして（苦笑）ようやく、お客様のために、という意味を私なりに理解し体現できたのではないかと思います。

### 転勤の日、常連さんが

——印象的なお話があるようすが。

### 店舗での取り組み

チャレンジシップフォーラム（略称：CSF）＝店舗単位でその年のテーマに取り組む。上位4店舗が「壇上チーム」に選抜され、この中からチームでのプレゼンテーションを経て、優勝チームが選ばれる。社員・スタッフが「仲間と共成長する喜び」を共有する社内最重要イベント

## キャリアステップ

アサヒディード社のキャリアプラン	堀内さんの目標
エリアマネジャー	
ストアマネジャー	
サブストアマネジャー	
ホールマネジャー	2020年 受験
ホールマネジャートレーニー	2015年 受験 結婚
ホールリーダー	2014年 受験
オペレーター	◀今ここ
オペレーターE	

堀内 転勤が決まっていよいよ最終出勤日という日に、いつも気難しい感じの常連様が「今日最終日やな。ありがとう、次のところでもがんばりや」と言ってくれださって、もうほんまにその時泣きそうになつて、思い出してもほんまに嬉しなつて（ちよつと涙）。やつてきてよかったな、と思つた瞬間でした。思わず、「ありがとうございましてっ！」って。あの時はほんま心の底から出ましたね。それ以来、この言葉はこれまでよりずっと大事に使う言葉になりました。——仕事をやる上で心がけていることはなんですか。

堀内 女性社員のくくりではないと思いますが、お客様、スタッフ、仲間に対して誠実でありたいと思います。お客様に誠実であれば、ケース・バイ・ケースの接客も、どの程度のサービスをお客様が求めるんやろう、とか、この方ってどんな

方なんだろうって見ると思ふんです。またスタッフか、悩んでいたり、気付いたり、成長するところを見てあげるといふのもそうですね。仲間に対しては、社員として責任感を持つことによつて、自分も仕事もらせるし周りの仕事もスムーズに進むし、信頼関係が構築される。一言で言えば信頼できる人になるということですかね。

## 女性らしいエッセンス

——さらにその上で、女性社員という特性はどう活かしていこうと思ひますか。

堀内 細やかな気遣いや、いわゆる女性らしい感性の部分は、持つて生まれた強みとして發揮して、男社会の凝り固まったところに新しいエッセンスを入れて、大きく輪を広げる。そういう役目は女性社員に求められているのかなと思ひます。

——違う視点を持ち提言するといふことですね。

堀内 はい。ただ、女性らしい感性も必要やけど、女性やからつて理由で負けてしまふ心を持ちたくないと思ひます。気後れすること

## お客様にもスタッフにも誠実でありたいと願つて

もあるでしょうし、体方面でも劣りますが、それ以外にできることを探した努力は誰でもできると思うのです。そこに気付けるマイルド面を強くしていきたいと思ひます。私自身が率先垂範していきたい、これで結果が残れば会社の望む女性社員像が体現できたんだろうと思ふので、今目指しているのはそこです。自ら気付き動く、そういう女性像かな。

## 結婚・出産はもう少し

——これからの堀内さんはどうなつていくんでしょう。

堀内 今一番したいことは、女性初のマネジャー職に就くことです。まずは総合職試験に受かつて、その次はホールリーダーに、と日付を入れてマネジャー職までのステップアップの計画を立てています。結婚・出産考えてる？ というのはよく聞かれます。女性のもう一つの仕事だと思ふので、もちろん考えています。今はホールに出ることが主な仕事ですから、アルバイトスタッフやお客様に負担をかけてしまふと思ふのです。私と

しては、せめてトレーニー（管理職）になつてからの方が迷惑かけることが少なくなると思ふので、そうなたら社員に甘えさせてもらおうかなと思つています（笑）。——最後に何かあればお願ひします。

堀内 今まで関わつてきた人に「ありがとうございます」を伝えたいです。今この場でこういう取材を受けさせていただいているのは、アサヒディードはもろもろいろいろな出会いがあつてのことです。産んでくれた親や友だち、みんなからほんとにちよつとずつちよつとずついいものももらつて今やと思ふんです。ほんまに「ありがとうございます」。

（構成・佐藤聖子 広報調査委員会 副委員長）



チャレンジシップフォーラムで優勝して大喜びの堀内さん